

# 脳神経医学セミナー

(来聴歓迎・事前登録不要)

## 脳転移休眠がん細胞の謎を解く

金沢大学がん進展制御研究所  
腫瘍細胞生物学研究分野

平田 英周 先生

日時 2018年12月18日火曜日 午後5時～6時  
場所 金沢大学宝町キャンパス 医学図書館2階十全スタジオ  
<http://square.umin.ac.jp/top/map/med-lib.pdf>  
後援 金沢大学先魁プロジェクト2018

医学専攻・博士課程専攻共通Up-to-dateセミナーに認定します

近年の研究により、がんの転移は進展の初期に起こり得ること、この早期転移がん細胞が休眠状態に移行し、何らかのきっかけで再増殖を開始してがん再発を引き起こすことが明らかとなっている。がん細胞の休眠移行・維持・破綻には臓器特異的な微小環境との相互作用が重要な役割を担っていると考えられているが、その機構には不明な点が多い。我々はがん脳転移マウスモデルを用いた1細胞トランスクリプトーム解析により、脳転移がん細胞の休眠維持に関わると考えられる複数の分子・シグナル経路を同定した。これらのうち、特にDNMT1発現抑制による脳転移がん細胞のリプログラミングがその後の運命決定に重要な役割を担うことを見出した。

問合せ 金沢大学医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志  
076-265-2365, kawasaki-labo@umin.ac.jp